

学習ガイド 訂正一覧表

2023. 8. 8

頁	行、例題、等	誤	正
p. 9	関連資料	QR コードがない	p. 1 のテーマ 1 と同じ
p. 63	付録 1 の参考資料	https://https://	https://
p. 75	引用・参考文献の 4)	https://https:	https://
p. 75	引用・参考文献、最後の 2 行	https://https:	https://

2023. 9. 4

頁	行、例題、等	誤	正
p. 13	例題 2-7 のプログラム、関数の箇所	戻る c	戻る * 変数 c の箇所を削除
p. 13	<関数の引数と戻り値> 4 行目~5 行目	また、「戻る c」は、関数が実行されたときに返される値（この例では数値）で、戻り値という。	た、「戻る」は、関数が実行されたときに返される値（この例では数値）で、戻り値という。
p. 13	<関数の引数と戻り値> 5 行目~6 行目	「最初だけ」ブロックにある「呼び出し wa」で、数値 3（関数側では a）と 5（関数側では b）を渡して、関数を呼び出す。関数側で計算した結果が、変数 c（3+5 で 8）として返される。	この例では、「戻る」に値がなく変数 c の値として返しているの、「戻る」のブロックはなくてもよい。関数側で計算した結果の値を「戻る」で返す場合は、必要になる。
p. 14	例題 2-72 のプログラム、関数の箇所	戻る c	戻る * 変数 c の箇所を削除
p. 14	<発展> Python のプログラム(2 か所)	return c	return
p. 14	例題 2-8 4 行目	合計金額（戻り値 goukei）	合計金額（goukei）
p. 14	例題 2-8 のプログラム、関数の箇所	戻る goukei	戻る * 変数 goukei の箇所を削除
p. 14	例題 2-8 「関数」の箇所 6 行目	戻り値を変数 goukei にする	合計金額を変数 goukei にする